企業・団体名（株式会社　アースコネクト　　）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・就業・労働環境ついて、性別、年齢、障がい、国籍、 出身などの差別のない体制づくりを整備しています					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメント禁止を就業規則に明記し、ハラスメントをなくす体制づくりを整備 しています					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・残業、休日出勤等の時間外労働時間を把握し、社内 でフォローし合い、過度な長時間労働の防止に努めま す								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・現在は外国人労働者はいませんが、今後、希望者があった場合は、外国人労働者に対する差別、人権侵害はしません				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・ミーティング等で問題点を社内共有し、安全で衛生的な労働環境の整備を心掛けています								8.5 8.8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・社内のコミュニケーションを円滑に取るように努め、メンタルヘルスを良好に維持できるように取り組んでいます			3.3 3.4														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・多様な人材が十分に活躍できる環境の整備に取り組ん でいます ・『社員の子育て応援宣言企業』に登録しています					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・資格の取得、講習会の参加、通信教育の実施等、教育訓練の機会を提供し、費用は会社負担としています				4.3 4.5 4.a	5.5			8.8									
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・同一労働、同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行っています					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・年に一回の健康診断を実施しています ・【予定】予防接種の全額会社負担			3.3 3.4 3.5					8.8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・マニフェストにより廃棄物の種類・量など現状把握している。廃棄物削減の為に 計画策定に取り組んでいます											11.6	12.5		14.1	15.3		
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・自社の消費電気量・油量等を把握し、CO2排出量の削減・抑制に努めています							7.3						13.3				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・現場において、排出ガス対策機械を使用 し、CO2排出量の削減・抑制に努めています							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・法令で規制されている有害化学物質を把握し、回収・処理のための計画を策 定及び実施しています			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	·自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないように配慮しています						6.6									15.3 15.4		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	·リサイクル製品を積極的に購入·利用し、廃棄物の分別を実施することにより、3Rに取り組んでいます												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	·自社の消費水量を把握することに努め、使用量削減に取り組んでいます						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ																		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ																		
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	･【予定】社屋にソーラーパネルを設置し、再生可能エネルギーを利用							7.2 7.3						13.1				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ																		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	･汚職･贈収賄禁止を社員に周知しています																16.4 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	･不正競争行為の禁止を社員に周知しています																16.7	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	･知的財産の保護に配慮しています								8.2 8.3	9.4 9.5								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	･個人情報は適切に保管･管理しています																16.3 16.9	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	･紛争鉱物を取り扱っていないことを確認しています																16.3 16.4	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	･取引先や協力会社と適切な対応について認識を共有し、共に取り組んでいます					5.1 5.2 5.c			8.3 8.4 8.8		10.2 10.c		12.3 12.5 12.8	13.1 13.3	14.1	15.3 15.4	16.1 16.3 16.5 16.7	17.6
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	･仕入れ･保管管理･現場で想定されるリスクを洗い出し、使用機械の法定検査を実施しています			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	･顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築するよう努め、顧客の声を社内共有し、問題解決に努めています									9.1 9.4								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ																		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ																		

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	･周辺地域への工事案内を回覧し、地域の理解と協力を得られるよう努めています									9.1 9.4		11.1 11.2 11.6	12.8		14.1 14.3	15.1 15.3		17.6
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ																		
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ																		
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	･経営理念及び経営目標を社員に説明し、共有するよう努めています								8.1 8.2 8.5	9.1 9.5								17.6
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	･法令遵守の重要性を社内にて共有するよう努めています																16.1 16.4 16.6	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	･役割や責任分担を行い、社内体制の整備をしています																16.3 16.6 16.7	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	･適宜利害関係者と対話し、自社の活動が与える影響を把握し対応するよう努めています																16.2 16.4 16.7	17.6 17.7
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																		
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																		
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ																		
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ																		

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）